

# 調 達

仕入先様、私たち、お客様のグリーンパートナーシップの構築を推進しています。

社会全体の環境負荷を削減していくには、仕入先様、リコーグループ、お客様の三者がグリーンパートナーシップを構築し、三者ともにメリットのある関係を実現していく必要があります。私たちは、仕入先様に環境負荷の少ない原材料・部品などを提

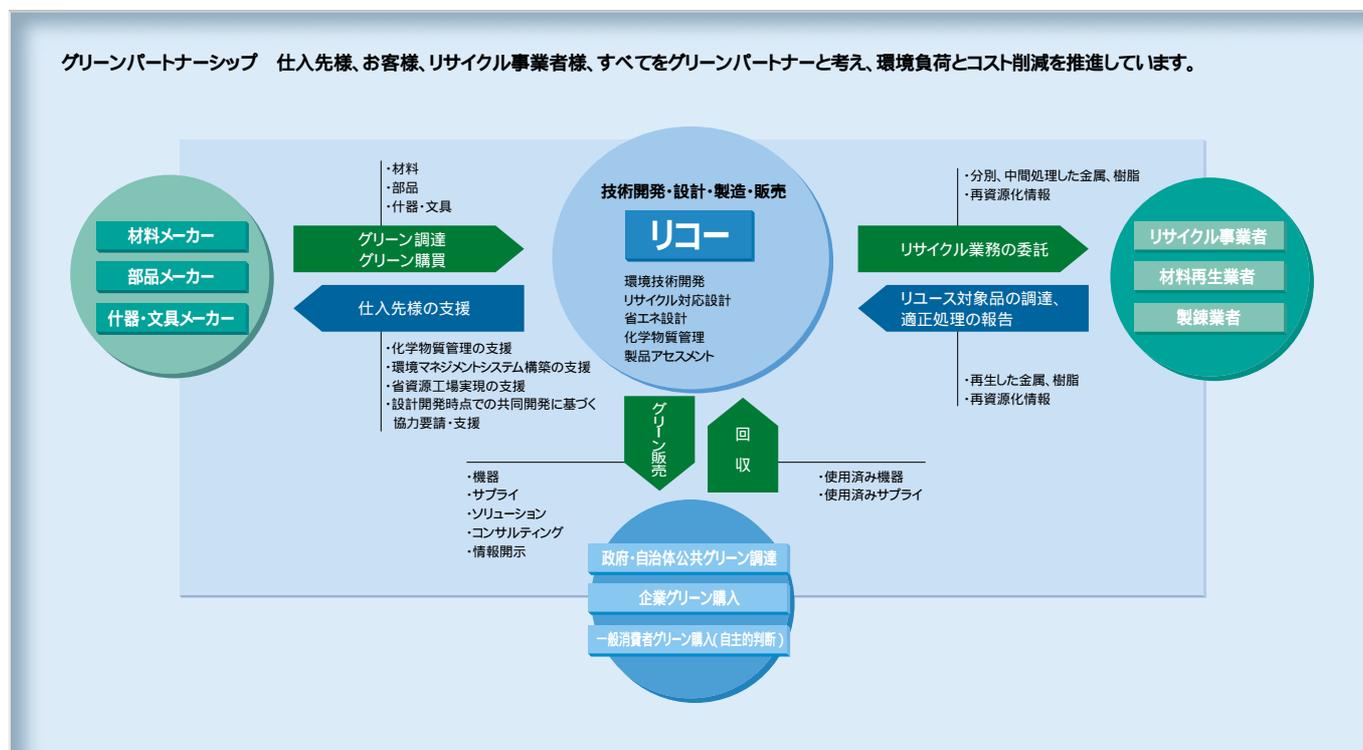
供していただくようお願いするとともに、仕入先様のEMS(環境マネジメントシステム)構築などをサポートしてきました。これにより、仕入先様は環境保全の進んだ工場環境負荷の少ない部品を開発・製造でき、リコーグループは環境負荷の少ない製品をつくるのが可能になり、お客様\*に環境負荷の少ない製品をご利用いただくことができます。私たちは、グリーンパートナーシップの活動を日本、米州、欧州、

中国極の生産拠点で展開し、グローバルな環境経営の実現に取り組んでいます。

\* お客様とのグリーンパートナーシップは55ページを参照。「他業界の排出物リサイクル」「特定化学物質の使用全廃の推進」については、トピックス17ページを参照。

### リコーグループのグリーン購入の定義

- ・グリーン調達  
(材料・部品のグリーン購入)
- ・グリーン購買  
(什器・文具類のグリーン購入)
- ・グリーン販売  
(お客様にとってのグリーン購入)



## インターナショナル

### 仕入先様への支援

リコーグループは環境保全の進んだ工場から原材料・部品などを調達するために、独自の「グリーン調達ガイドライン」を制定し、世界各極で展開してきました。このガイドラインは、中小の仕入先様が効率的にEMSを構築できるよう制定されたものです。リコーの内部監査員が仕入

先様を訪問し、仕入先様の実態を把握することにより、「最小限の管理資料の作成」など効率化のための工夫を盛り込みました。また、リコーグループの専門技術者による改善支援や、「技術交流会」の開催によるリコーグループの活動事例紹介、さらには「グリーン調達成功事例」によって仕入先様の活動がどのように世の中全体の環境負荷削減に役立つのかを啓発するなど、さまざまな支援も行

ってきました。通常ISO14001の認証取得には10～12カ月かかりますが、これにより、わずか4～6カ月でEMSを構築できるようになりました。



リコーグループ  
グリーン調達ガイドライン  
(フランス語)

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/guideline>  
(日本語、英語、中国語)

## 日本極

## 紙のグリーン調達

プリント用紙や「オフィス古紙循環型リサイクルサービス<sup>\*</sup>」を提供するNBSリコーでは、製紙メーカー様に対して、原生林の樹を使用しない「植林パルプ」の調達や、ECF( Elemental Chlorine Free : 無塩素漂白 )の採用を促進しています。さらに「FSC<sup>\*</sup>パルプ」の優先的調達を進めています。

<sup>\*</sup> 55ページを参照。

## グリーン購買の展開

リコーグループは2001年度、グリーン購買をグループ全体の取り組みと位置付け、社内で使用するOA機器、備品、文具、販促品、贈答品などに関する「グリーン購買品リスト」を作成し、効率的なグリーン購買を推進してきました。さらに2002年10月には、「新購買システム」の稼働をスタートさせ、100%自動的にグリーン購入品を発注しています。これにより、年間20億円のコスト削減が見込まれます。

## 欧州極

## グリーン購買

欧州の販売統括会社であるリコーヨーロッパは、オフィスの備品だけでなく、カタログなどの販促ツールに使用する用紙やインク、出張に使用する航空会社、銀行、オフィスの清掃会社に至るまでのきめ細かな「グリーン購入ガイドライン」を策定しました。このガイドラインは、リコーの販売会社だけでなく、グループの販売会社であるNRGやレニエにも展開する予定です。

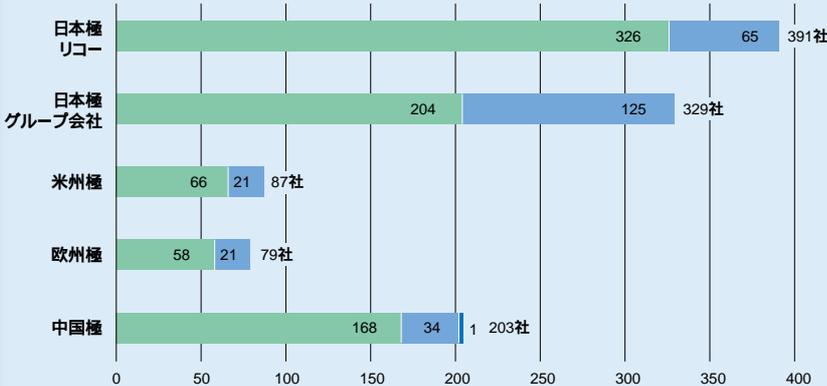
世界のグリーン調達状況(仕入先様のEMS構築状況)

2003年3月末現在

ISO14001認証取得済み

リコーガイドライン認証取得済み

ISO14001またはリコーガイドライン認証取得準備中



## グリーン調達の推進

LCA視点で環境負荷の少ない製品をお客様に提供するには、「仕入先様の製造工程の環境負荷削減」と、「原材料・部品の環境負荷削減」を推進することが重要です。この2つの視点に立ち、リコーグループは仕入先様とのパートナーシップによる活動を展開しています。

## 製造工程の環境負荷削減

製造工程での環境影響化学物質を削減するために、特定フロン、塩素系有機溶剤を削減対象にし、主要仕入先様に2004年度までに全廃の要請をしています。

## 原材料・部品などの環境負荷削減

原材料・部品などの環境影響化学物質(鉛、六価クロムなど)を削減するために、代替品への切り替え促進だけでなく、使用禁止物質不使用の証明を求めたり、含有化学物質の調査を行っています。また、仕入先様などからの積極的な提案を促すために、「グリーン調達基準<sup>\*</sup>(日本語・英語・中国語)」をホームページで公開し

ています。日本では「購買方針説明会」を開催し、「製品の環境影響化学物質の削減」をはじめ「部品リユース推進」「製品の消費電力削減」など、リコーグループの具体的な目標を提示しました。2002年度は、仕入先様からの提案により、廃ペットボトル素材を使った部品<sup>\*2</sup>の開発に成功しています。2003年2月「第2回リコーグループグリーン調達大会」では、仕入先様とリコーグループのパートナーシップで環境負荷を大きく削減した事例を発表しました。今後も更なる環境負荷削減に向け、仕入先様とのパートナーシップをより強固なものにしていきたいと考えます。

<sup>\*1</sup> <http://www.ricoh.co.jp/ecology/guideline/02.html>

<sup>\*2</sup> 17ページを参照。